

北関東自動車道 桜川筑西IC(インターチェンジ)～笠間西IC 開通



- 1 橋本知事（写真前列左）や中田市長（写真前列中央）はじめ多数の来賓の方が開通のお祝いに駆けつけました。
- 2 これからどんどんつながっていく「北関」を応援するために結成された「きたかんつなガールズ」も開通記念式典に華を添えました。
- 3 4月6日（日）に、桜川筑西IC付近の本線上で行われた開通記念イベントでは、ウォーキングの参加する約8,000の方がバス待ちで長蛇の列を作りました。
- 4 5 開通記念イベントに参加した約30,000人の方は、ウォーキングやアトラクション、地域物産展などで楽しい春の1日を満喫しました。
- 6 桜川筑西ICの設置に伴い「桜川ロードパーク」（長方地区）で、国道50号線4車線開通記念式典も行われました。



**北関東3県を結ぶ
広域ネットワークの強化**

4月12日（土）、岩瀬体育館（ラスカ）と桜川筑西IC付近の本線上で、桜川筑西IC、笠間西IC開通式典が行われました。式典には、中田市長はじめ富山筑西市長、山口笠間市長、来賓、工事関係者など約450人が出席。来賓の皆さんの祝辞の後、くす玉割りやテープカット、車両パレードなどで開通を祝いました。

この開通に先立って、同ICの設置に伴う国道50号線4車線開通記念式典や桜川筑西IC、笠間西IC区間で約3万人が参加して開通記念ウォーキングイベントが行われました。

今回の開通により、平成23年度の全線開通（予定）に向けて一層弾みがつくものと期待されます。この自動車道は、ひたちなか市と群馬県高崎市を結ぶ、延長150kmの高速道路。途中、水戸市・宇都宮市・前橋市の北関東3県の主要都市や、東京から伸びる関越自動車道・東北自動車道・常磐自動車道を連結することで、北関東地域に新たな経済圏が創生されることに大きな期待が寄せられています。



桜川筑西IC～笠間西IC開通記念式典のくす玉割りとテープカットの様